

外国人旅行者等受入環境整備の推進

実計

予算額 386 万円

副題：大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所を対象とした支援を拡充します

ポイント

今後増加していくことが予想される訪日外国人旅行者等が安心かつ快適に滞在できる環境を整備するため、地域のおもてなし拠点である大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所を対象とし、多言語対応の改善・強化に重点を置いた支援を拡充します。

事業概要

1 24 時間対応多言語コールセンター 324 万円

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗を対象とした電話通訳サービス及び翻訳サービスを提供する多言語コールセンターを運営します。対応言語は、英語、中国語、韓国語を予定しています。

2 外国人旅行者等受入対応セミナーの開催 26 万円

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所登録店舗を対象とし、外国人旅行者等のニーズ、習慣等や簡単な接客言語を習得していただくことを目的としたセミナーを実施します。

3 パンフレット等郵送料 36 万円

大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所でも区の観光紹介用パンフレットを配布していただき、外国人旅行者等に区をよりよく知っていただくために、登録店舗に対しパンフレット等を郵送します。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 観光課	
	課長	中村	電話 5744-1321
	担当者	新山	電話 5744-1322

大田区観光統計・マーケティング調査

新規

実計

予算額 1,944 万円

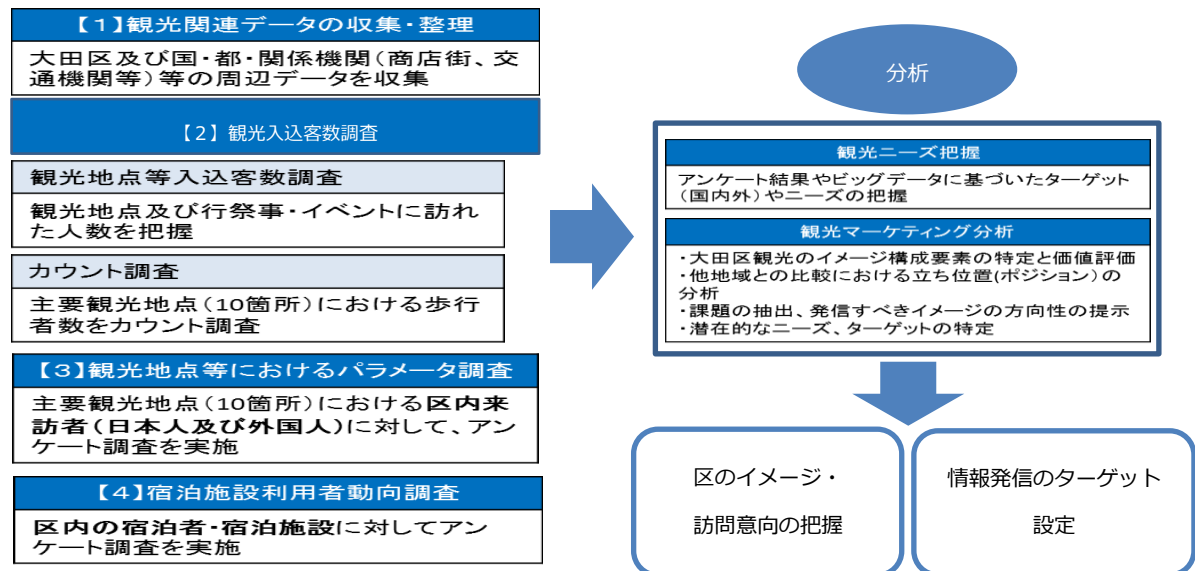
副題:大田区の観光をさらに効果的に発信していくため基礎調査を実施します

ポイント

平成 26 年度に実施した「観光マーケティング調査」で把握した観光に係る基礎データに加え、「大田区の地域特性に合ったターゲット」及び「プロモーション手法」等を導き出すことにより具体的に事業効果の検証を行います。

事業概要

調査・分析に基づき、区のイメージ、訪問意向を把握し、次年度以降の情報発信に反映させます。「新観光振興プラン」策定に向けた基礎資料としても活用します。



問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	観光課
	課長	中村	電話 5744-1321
	担当者	新山	電話 5744-1322

大田の観光にぎわい創出補助事業

新規

実計

予算額 2,500 万円

副題：地域の力で大田の観光魅力を磨きます

ポイント

地域団体や企業などの民間の力が、大田の観光資源を活用して新たなにぎわいを創出する取組みを支援し、区への来訪者増加を図ります。なかでもポテンシャルの高い大田区の観光資源である運河や河川等の水辺の魅力を広く周知し、大田区の認知度向上を促進します。

事業概要

1 水辺のにぎわい創出事業の支援

2,000 万円

地域の団体等が水辺の魅力を活用し、大田区の認知度を向上させる広域的な連携事業に対し、その経費の一部を補助します。3年間で補助率を段階的に下げていくことにより、事業の自立化を図ります。

2 産業観光資源を活用したにぎわい創出事業への支援

500 万円

ものづくりや銭湯や商店街などの産業観光資源を活用し、地域のにぎわいを創出する地域団体等の事業の経費の一部を補助します。



問合先

担当部課 観光・国際都市部 観光課

課長 中村 電話 5744-1321

担当者 綱島 電話 5744-1322

大田の魅力を国内外にPR

実計

予算額 1,324 万円

副題：大田の魅力を世界に発信します

ポイント

23区で唯一空港を有する区として、日本の空の玄関口である「羽田空港」から大田区の魅力を世界に向けて発信し、羽田から大田区への誘客につなげます。

また、大田の魅力を活用し、地域の団体等と連携し事業の相乗効果を図り、地域のにぎわいを醸成します。

事業概要

1 「空の日」イベントでの「国際都市おおた」PR事業 1,000 万円

9月に羽田空港で開催される「空の日」フェスティバルに出展し、「国際都市おおた」の存在をアピールします。羽田空港から世界に向けて、大田の魅力を発信します。



2 大田の魅力を活用したにぎわい事業 324 万円

映画・ドラマ等のロケ地や大田区の旬の話題・魅力を活用した事業を実施します。実施にあたり、地域団体等との連携を推進し、メディアへの露出を図ります。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 観光課	
	課長	中村	電話 5744-1321
	担当者	綱島	電話 5744-1322

MICEに資する体制の構築

実計

予算額 172万5千円

副題：大田区における MICE 誘致を推進します

ポイント

区内の施設や会場の使用を契機とした宿泊施設利用、飲食・購買等の拡大や区内観光、回遊の促進が見込まれる MICE 誘致を推進します。MICE を誘致することにより、区の認知度向上を目指すとともに経済や地域の活性化を図ります。

事業概要

1 MICE に資する施設等の PR リーフレットの作成

MICE を誘致するため、施設や周辺の紹介を掲載した PR リーフレットを作成します。

2 MICE 総合受入案内窓口の開設

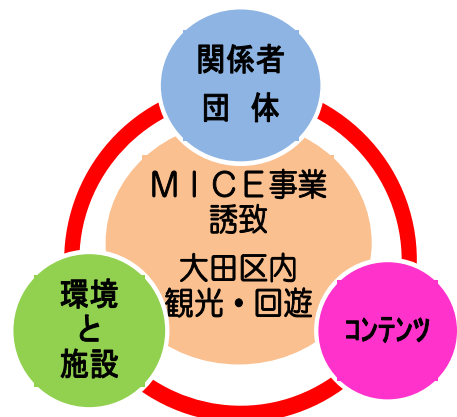
MICE に関する施設利用の相談や観光案内等をワンストップで対応する「MICE 総合受付窓口」を大田区観光情報センター内に開設します。

3 庁内連携体制の整備

総合受入案内窓口設置後の MICE の受入をスムーズに行うため、庁内の体制を整備します。現在の庁内連絡会の規模を拡大し、関係部署間等での円滑な連携、情報共有を図っていきます。

4 IME2017 への出展

MICE の見本市 IME（国際ミーティングエキスポ）2017 に出展し、区内への MICE 利用を誘致します。



問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	観光課
	課長	中村	電話 5744-1321
	担当者	綱島	電話 5744-1322

「国際都市おおた」推進事業

実計

予算額 2,069万1千円

副題：「国際都市おおた宣言」を契機に大田区の魅力を国内外に発信します

ポイント

平成26年度から3年間に渡り「国際都市おおた」推進に関する区民・有識者会議を設置し、大田区における「国際都市の定義」や「国際都市おおた宣言」を策定しました。3月12日に予定している「国際都市おおた宣言」を契機に、姉妹・友好都市等の国際交流や各種イベント事業を通じて、大田区らしい地域力を活かした「国際都市おおた」の実現に向けた取り組みを充実させ、大田区の魅力を国内外に発信します。

事業概要

「国際都市おおた宣言」を効果的にPRしていくため、以下の事業を実施していきます。

1 姉妹・友好都市等交流事業

738万4千円

中国北京市朝陽区やアメリカセーラム市等、海外都市との交流を通じて、相互理解と友好親善を促進し、「国際都市おおた」の周知向上を図ります。

中国北京市朝陽区には、友好都市締結20周年記念訪問団を派遣します。

2 「国際都市おおた」シンポジウムの実施

149万7千円

各界で活躍する有識者による講演会やパネルディスカッションを行い、「国際都市おおた」の推進に向けて、区が取り組むべき方策を語り合います。

3 18色の国際都市事業の支援

54万8千円

18の特別出張所と連携し、各地域の独自性を活かし「国際都市おおた」を実感できるような取り組みを行い、外国人と地域住民との交流促進を支援します。

4 国際都市おおた大使事業の実施 **144万2千円**

大田区に在住・在勤等、ゆかりのある外国籍の方を国際都市おおた大使（来～る大田区大使）として委嘱し、大田区の魅力を SNS 等を通して発信していただくほか、各種イベントにも参加していただき、国際交流や多文化共生を推進します。

5 多文化交流会の実施 **21万6千円**

多文化共生意識啓発の観点から、区民と外国人が気軽に交流しながら、相互理解を深められるイベントを開催します。

6 大田区くらしのガイド外国語版「リビングガイド」の製作 **960万4千円**

英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語のほか、ネパール人の増加に伴い新たにネパール語版を作成し、毎日の生活に必要な情報を多言語で提供し、外国人が地域で安心して生活できるよう支援します。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	国際都市・多文化共生推進課
	課長	高野	電話 5744-1719
	担当者	丹沢	電話 5744-1227

大田区伝統工芸士認定制度

新規

実計

予算額 15万円

副題：「和の匠」伝統工芸分野への支援を強化します

ポイント

伝統文化は楽器の奏者（芸能）とそれを支える楽器の制作者（工芸）のように、各分野が相互に支え合い発展してきました。中でも工芸分野は、ほぼすべての伝統文化とのつながりがあります。このため、伝統工芸の衰退は、他分野の活動に影響が生じるなど、伝統文化そのものの存続にも関わることを意味します。

そこで、区はさまざまな芸術・芸能を支える工芸分野の維持発展を目指して認定・表彰制度を創設します。これによって、技術者の社会的評価の向上とものづくりマインドの高揚を図るとともに、伝統文化全体に対する支援にもつなげます。

事業概要

1 伝統工芸士の認定

4万5千円

区内で伝統工芸に携わり、維持発展に寄与しているものづくりの方を大田区伝統工芸士として認定します。
この認定は、学識経験者等の専門家を交えた審査会において行います。



奏者を支える工芸士（三味線）

2 伝統工芸士に対する表彰

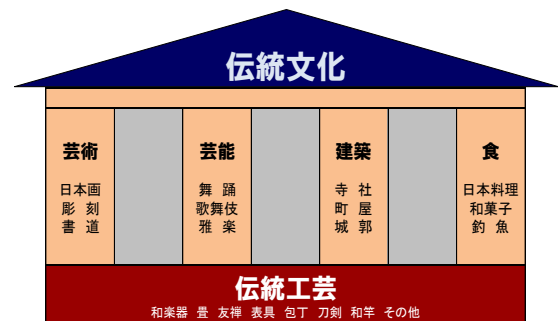
10万5千円

認定された工芸士のうち、永年の功績があり、後進の指導・育成、区への協力に積極的な方を表彰します。

3 伝統工芸のPR

各種イベントへの工芸士の参加を通じて、日本文化のすばらしさを伝えます。

特に子ども、若者、外国人に実演を間近で見ってもらうことにより、興味を喚起し、ひいては次世代のものづくりの担い手育成に結びつけます。



伝統文化を基礎で支える工芸分野

問合先	担当部課	観光・国際都市部 文化振興課		
	課長	白根	電話	5744-1217
	担当者	栗林	電話	5744-1226

(仮称) 勝海舟記念館 (旧清明文庫) の整備・開設 実計

予算額 4億681万2千円

副題：平成29年度 改修工事に着手、PR 事業を推進

ポイント

勝海舟が晩年に別邸「洗足軒」を構えた洗足池畔にある旧清明文庫（国登録有形文化財）を保存・活用し、海舟の想いや地域の歴史を伝える（仮称）勝海舟記念館を整備します。

事業概要

1 旧清明文庫の改修・増築工事、整備事業推進委員会の開催

3億8,972万2千円

学識経験者、地域代表等による審議に基づき、国登録有形文化財である既存棟（旧清明文庫）を改修し、咸臨丸、長崎海軍伝習所、洗足軒等に関する資料の展示と活用を行います。

また、事務室、エレベーター等を設置する管理棟を増築し、設備・機能の向上を図ります。



勝海舟

2 収蔵資料の購入・研究、資料収集評価委員会の開催

1,676万6千円

専門家による評価委員会の審議を踏まえ、海舟ゆかりの資料を購入します。あわせて、海舟の想いや生きた時代が展示から伝わるよう、購入資料の調査と研究にも取り組みます。



咸臨丸航路図（写）区所蔵

3 開館 PR 事業の推進

32万4千円

開館への機運を醸成するため、勝海舟の偉業や大田区とのゆかりを PR する講座やパネル展示等を、地域と連携して実施します。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 文化振興課		
	副参事	伊藤	電話	5744-1693（文化計画・施設担当）
	担当者	小池	電話	5744-1627

区内工場立地・操業環境整備助成事業による

区内工場集積の維持・強化

実計

予算額 2億3,193万5千円

副題：企業立地を促進し、大田区のものづくり基盤技術の集積を維持・強化します

ポイント

区内工場数の減少傾向が見られる中、区内企業の事業規模拡大・高度化にともなう工場拡張等のニーズや、区外から大田区への立地ニーズが寄せられており、事業用地・工場物件等が不足しています。このようなニーズに応え、区内の不動産情報を収集し工場立地のマッチングを図るとともに、助成制度の利用を促進することで、大田区のものづくり基盤技術の集積の維持・強化を図ります。また、今後の工業振興方策の検討・策定に向けた調査を実施します。



事業概要

1 企業誘致・企業留置・不動産調査サポート業務委託

1,317万円

区内の空き工場・工業用地情報を把握し、拡張意向、大田区に新規立地意向のある企業等と最適なマッチングを行うことで、工業集積の維持・強化を図ります。あわせて、助成金相談・申請受付業務を連結し、区窓口に加え現場でお話を伺うことで、よりきめ細やかな案内を行い、制度の活用促進及び、区施策のPRの充実を図ります。

2 貸工場・工業用地マッチング事業

25万円

区内に立地又は移転を希望し、工業用地又は貸工場の情報を求めているものづくり企業に対し、宅地建物取引業者及び(公社)東京都宅地建物取引業協会と連携し、不動産情報を提供します。

3 ものづくり工場立地助成、研究開発企業等拠点整備助成、ものづくり企業立地継続補助金

2億71万6千円

区内で操業を希望する企業が事業規模の拡張や事業の高度化のために行う工場の新增設・移転に関わる経費を1/3、最大1,000万円まで、ファブレス企業(自らは企画・設計や研究開発等に特化し、生産は外部に外注・委託する企業)など研究開発型企业等の拠点整備に関わる経費を1/3、最大300万円まで、操業環境の改善に関わる経費を3/4、最大375万円まで助成します。

4 産業支援施設のあり方及び土地活用調査委託

1,779万9千円

区外からの立地需要や区内企業の拡張に伴う移転等、工場アパート等への関心が高まる中で、これら産業支援施設のあり方について検討していきます。また、臨海部などの工業集積に資する建替えを促進していくとともに、災害時における企業の事業継続にも応用可能な土地活用手法について、調査を行います。

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	宮本	電話 5744-1347 (工業振興担当)
	担当者	西川・田野邊	電話 5744-1376

IoTなどを活用した取引環境の整備 実計

予算額 1億1,510万9千円

副題：下町 IoT ファクトリーを実現し、中小企業の生産性を向上します

ポイント

IoT 技術を活用し、仮想工場「下町 IoT ファクトリー」を作り上げることで、発注者に対し効率的なものづくりを提供できるようにします。また、アイデアをかたちにしたい人々が集う環境の整備と、交流の促進により、新たな事業展開を目指す方への支援を提供できるようにします。

事業概要

1 IoT 仲間まわしによる中小企業生産性向上

1 億円

区内企業が IoT 技術を活用し、集積する企業間で各工程を分担して製造を行う「仲間まわし」の生産性向上を図ることで、取引拡大を目指します。サービスの実用化に向け、調査分析と実証を行っていきます。



2 大田区プロトタイプセンターの整備など

1,510万9千円

ものづくりに取り組む人々が集い、プロトタイプングができる環境を提供することで、新事業に取り組む企業の増加と新製品の開発促進を目指します。運用開始に向け、調査分析と実証を行っていきます。



問合せ先	担当部課	産業経済部 産業振興課
	課長	堀江 電話 5744-1614 (産業交流担当)
	担当者	木内 電話 5744-1641

羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成

実計

予算額 9,258 万円

副題：世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成します

ポイント

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される平成 32 年のまちづくり概成に向けて、羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成を進めています。

平成 29 年度は、跡地整備の新たなステップとして、土地区画整理事業に着手するほか、第一期事業予定地の整備・運営事業者を選定し成長戦略拠点の整備がスタートするなど、羽田空港跡地整備は具体化に向けて大きな一歩を踏み出します。

事業概要

官民連携により事業を推進することで、世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を呼び込むとともに、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指します。

1 拠点形成に係る取組み推進

3,278 万 9 千円

平成 29 年 5 月中の事業予定者決定を踏まえ、様々な機会を捉えてまちづくりの状況をお知らせするとともに、当初の運営期間は長期にわたるため、事業活動等を適確にモニタリングするための計画を策定します。

2 基盤施設の整備検討

3,822 万 8 千円

公園等整備に関する各種検討業務を実施し、基盤施設の整備を図ります。

3 産業交流施設に係る取組み推進

2,156 万 3 千円

多様な主体が参画し、製品開発などを図る「協創プロジェクト」を推進するため、区内企業の開発提案力向上につながるプログラムを実施し、区内企業と有望な技術系ベンチャー企業との連携創出を図ります。



スケジュール

年度	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
都市計画等 基盤整備	都市計画決定 ●	事業認可 ●	基盤整備工事			まちづくりの 概成
第一期事業 建物建築		募集要項公表 ●	事業予定者決定 ●	建築工事		

問合先	担当部課 (上記 1, 2)	空港まちづくり本部 空港まちづくり課				
	(上記 1, 3)	産業経済部 産業振興課				
	課長 (上記 1)	山浦	電話	5744-1537 (事業調整担当)		
	(")	白鳥	電話	5744-1648		
	(上記 2)	中村	電話	5744-1646 (空港基盤担当)		
	(上記 1, 3)	堀江	電話	5744-1641 (産業交流担当)		
	担当者 (上記 1)	毛塚・曾田	電話	5744-1650		
	(上記 2)	立花・宮森	電話	5744-1650		
	(上記 1, 3)	木内	電話	5744-1614		

若手の活躍による商店街活性化

新規

予算額 789万2千円

副題：新たな人材の育成と掘り起しにより商店街を活性化します

ポイント

商店街の若手を中心とした新たな人材の掘り起こしを行います。さらに次世代の商店街振興においてキーマンとなる人材の育成・組織力強化を行い、若手商人の交流を図ることで、区内商店街の活性化を推進します。

事業概要

1 若手商人ネットワーク事業

644万2千円

商店街の若手を対象にした勉強会、勉強会実施後の事業費などについて支援します。勉強会では商店街の若手が知りたいこと・興味のあることなどを研究します。若手は勉強会で学んだことを活かした事業を商店街で実践し、次代を担うリーダーの育成を図ります。



若手の勉強会の様子

2 振興組合の青年部設立・運営補助

145万円

振興組合の青年部の設立・運営について支援を行います。青年部未設立の商店街において、設立に係る経費を補助して設立を促します。設立済みの商店街は、若手の活動が活発になるよう、議論や研究を行う青年部の会議費等について支援します。



若手のキャンドルイベント準備の様子

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

お休み処活用による商業活性化

新規

予算額 865万円

副題：商店街のお休み処を支援し、商店街活性化へつなげます

ポイント

親子連れや高齢者などの地域交流の場であるお休み処を持つ商店街を支援します。商店街のお休み処を来街者や様々な団体が利用することにより、地域交流が活性化し、商店街の来街者増加を図ります。

事業概要

1 スタートアップ支援事業 165万円

空き店舗や商店会館等の活用を促し、お休み処を開業する際に運営がスムーズにできるように運営費の支援を行います。

2 お休み処周知事業 200万円

商店街は、買物はもちろん、区民のふれあう場であり、地域のコミュニティスペースとしてお休み処を広くPRするための経費を補助します。

3 商店街空きスペース活用事業 500万円

福祉団体又は公益性のある団体にお休み処等の空きスペースを無料で利用してもらい、その経費を商店街に支援することで、団体と商店街の交流を深め、商店街の来街者の増加につなげていきます。



お休み処（アキナイ山王亭）



お休み処（ながはら庵）

問合先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

商店街環境の整備

実計

予算額 4,164万5千円

副題：にぎわいのある商店街を維持するための基盤整備を進めます

ポイント

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、多くの観光客や来街者を迎えるために、区内複数エリアで商店街景観整備事業※を進めます。

また、商店街装飾灯の電灯料補助率を見直し、負担を軽減させることで、商店街を中心としたまちのにぎわいを創出します。

※商店街のデザインに統一感を持たせることで魅力を高める事業

事業概要

1 商店街景観整備事業 577万2千円

(1) 商店街景観整備計画策定（調査）事業 507万2千円

ミハラ・池上地区に続く候補地を選定するために28年度に実施した調査を基に、事業を検討する商店街に対して専門家を派遣する経費や協議会を設立・運営する経費を補助します。

(2) 商店街景観整備後の実態調査事業 70万円

28年度に景観整備をした池上地区に対し、整備後の効果検証をするための調査経費を補助します。



景観整備事業（ミハラ地区）

2 商店街装飾灯整備助成事業（電灯料補助）3,587万3千円

固定費である商店街装飾灯の補助率を見直し、負担を軽減させることで、装飾灯LED化促進や、まちの安心・安全を確保するほか、商店街を中心としたまちのにぎわいを創出します。



矢口の渡商店街の装飾灯

問合先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

YouTube や SNS を活用した商店街施策 新規

予算額 1,000 万 6 千円

副題：YouTube や SNS の活用により、商店街を PR します

ポイント

商店街 PR 動画を一般の方から募集し、表彰する事業です。撮影した動画が YouTube に公開され、さらに SNS 等による拡散を促進することで広報効果を生み出します。自治体主導による商店街 PR 動画コンテストは、都内初です。賞金は総額 80 万円を予定しています。

加えて大田区商店街連合会 HP をリニューアルします。SNS との連携強化などを行い消費者が商店街に足を運びたいくなる情報を発信し、情報発信力の強化を図ります。

事業概要

1 商店街 PR 動画コンテスト事業

400 万円

大田区の商店街を PR する動画を幅広く募集します。皆さんからの動画投稿で新たな商店街の魅力発見につなげます。



- ・ 募集対象：個人、団体問わずどなたでも可
- ・ 応募期間：7 月～9 月頃
- ・ 募集作品：1 分程度の商店街 PR 動画
- ・ 発表：10 月頃



商店街 PR 動画イメージ

2 大田区商店街連合会 HP 改修

600 万 6 千円

SNS との連携強化、読者が見て分かりやすい HP 画面の構築やイベント・セール情報の積極的な広報を行います。商店街のお得情報や面白いイベントを積極的に広報し、商店街の集客力を高め大田区の商店街活性化を図ります。

問合せ先

担当部課	産業経済部	産業振興課
課長	柏原	電話 5744-1337
担当者	門馬	電話 5744-1373

公衆浴場業の活性化

予算額 1,150 万円

副題：地域の資源である銭湯を積極的に支援します

ポイント

都内最多 42 軒の銭湯を有する大田区ですが、健康増進型浴場への改修支援を拡充することにより、施設の更新と区民の健康増進に寄与します。また、特区民泊利用者を対象とした銭湯手ぶらセット配布事業を支援し、公衆浴場業の活性化を促進します。

事業概要

1 健康増進型公衆浴場改修助成 800 万円

30 m²以上の脱衣室等を備え、健康事業等の実施が見込める健康増進型公衆浴場への改修に対して、支援を拡充し、施設の更新と区民の健康増進を支援します。



平成 23 年度に改修した改正湯



移動可能なロッカーと脱衣室



2 つの脱衣室を繋げてヨガ教室

2 特区民泊連携事業への補助 350 万円

多言語化された浴場連合会 HP や、外国人向けの「SENTO ガイド」を活用した特区民泊利用者向け銭湯手ぶらセットの配布事業を支援します。



大田浴場連合会
Ota Sento Association

問合せ先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

海外取引拡大に向けた支援事業

実計

予算額 2,537万9千円

副題：区内企業の国際化を推進し、地域産業を活性化します

ポイント

地域の中核的企業としての役割を担うコネクターループ企業の国際化を支援するため、①大田区企業を紹介する英文企業ガイド（2017年版）作成、②区内企業が選択する海外見本市への出展経費の一部助成の拡充などを実施します。

事業概要

1 海外取引相談事業 1540万1千円

区内企業の国際化を推進するため、地域に密着したワンストップ窓口として担当職員が個別課題に対応します。ビジネスチャンスの提供として外部機関等と連携し、国内外で商談会を実施して直接的な機会促進を図ります。併せて、e-コマース（電子商取引）を促進させて、欧州、中国・台湾、北米などの地域について重点的に市場開拓を進め、現地企業の調達ニーズを掴み、区内企業への取引拡大を図ります。



国際取引商談会

2 海外見本市への出展支援事業 997万8千円

中国市場に向けて日系企業が多く出展するFBC上海への展示会出展をはじめ、製造業とIoTの融合といったものづくり産業の進展が著しい欧州において開催される展示会を活用し、販路拡大を図ります。

また、専門化・細分化したニーズに応えるべく、海外見本市（自由選択制）に出展する企業に対して、経費の一部助成（上限40万円）を拡充し、区内企業への取引拡大を図ります。



海外見本市への共同出展

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	宮本	電話 5744-1347（工業振興担当）
	担当者	西川・田野邊	電話 5744-1376

大田区加工技術展示商談会

実計

予算額 1,258万1千円

副題：技術課題提案型（ニーズプルマッチング）商談会を開催します

ポイント

大手・中堅企業の技術課題を引き出し、区内中小企業がその技術力で解決を図っていく技術課題提案型（ニーズプルマッチング）商談会を開催します。大田区のものづくり企業の新規開拓として、コストだけではなく、製品の付加価値が高く、企業の技術力及び課題提案力を活かせる受注機会の拡大を図ります。

事業概要

1 大田区加工技術展示商談会 988万1千円

大田区企業のうち、加工業を主業とする企業の技術力を全国の中堅・大手企業にPRし、新規取引先の開拓、販路拡大等、取引の促進に繋がる展示商談会を開催します。出展企業は小規模ながらも技術力の高い区内中小企業（概ね従業員10名以下の企業）が中心です。



2 技術課題提案型（ニーズプルマッチング）商談会

270万円

ニーズプルマッチング商談会では、大手・中堅企業の新規開発事業や研究開発などのニーズを、区内中小企業が自社の技術力や提案力で解決するマッチングを行います。

基本スキーム



問合せ先

担当部課	産業経済部 産業振興課		
課長	宮本	電話	5744-1347（工業振興担当）
担当者	西川・田野邊	電話	5744-1376

新製品・新技術開発支援事業

実計

予算額 8,063 万 1 千円


副題：高付加価値型ものづくり産業の集まるまち大田を目指します

ポイント

区内製造業の集積を維持・発展するためには、限られた経営資源を最大限に活かしつつ、付加価値の高いものづくりを実現していくことが不可欠です。

本事業では、①新製品・新技術開発支援事業補助金の交付、②開発した優秀な製品・技術の表彰と、販路拡大支援、③製品デザインに対する感性を磨くためのセミナー等を行うことで、区内中小企業の新製品・新技術開発力の向上を図ります。

事業概要

- | | | |
|----------|--|-------------------|
| 1 | 助成事業（開発ステップアップ助成・実用化製品化助成） | 7,759 万円 |
| | (1) 開発ステップアップ助成：付加価値の高い新製品の企画、設計から試作開発までの取組みに対し助成
限度額 500 万円× 8 件 | |
| | (2) 実用化製品化助成：試作開発後製品の付加価値を高める実用化製品化に向けた取組みに対し助成
限度額 500 万円× 7 件 | |
| 2 | 表彰事業（新製品・新技術コンクール） | 250 万 4 千円 |
| | 最優秀賞 1 点 賞金 30 万円 | |
| | 優秀賞 2 点 賞金 10 万円 | |
| | 奨励賞等 6 点 賞金 5 万円 | |
| |  | |
| | 第28 回新製品・新技術コンクール 最優秀賞
超極細やすり「マイクロフィニッシュ」
インターナショナルダイヤモンド株式会社 | |
| 3 | デザインプロジェクト事業 | 53 万 7 千円 |
| | 創造的な発想による製品開発を、デザイン思考の手法を用いて普及させていくためのセミナー、出張講座を行います。（セミナー 3 回、出張型講座 5 社予定） | |

問合先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	宮本	電話 5744-1347（工業振興担当）
	担当者	西川・田野邊	電話 5744-1376

「大田のお土産 100 選」表彰事業

実計

予算額 772 万 4 千円

副題：「大田のお土産 100 選」を区内外にプロモーションします

ポイント

28 年度スタートした「大田のお土産 100 選」は、「おおた商い・観光展 2016」での表彰式以降、「大田区観光情報センター」での展示・販売を中心に大変好評で、各方面で多くの反響を得ました。29 年度は表彰事業の実施と共に、民間企業と連携して催事・イベントの出展等、「大田のお土産 100 選」の展示・販売機会を充実させ、区内外に効果的なプロモーションを実施します。

事業概要

1 表彰事業の実施 624 万 5 千円

「食品分野」、「ものづくり分野（雑貨を含む）」の 2 つの分野で、大田のお土産となる製品・商品を募集。調査・審査会を経て、製品・商品（事業者）を決定します。2 年目となる本年度は、事業者間連携で生み出された製品・商品や「ものづくり分野」からの積極的な応募が期待されます。

2 展示・販売機会の充実 147 万 9 千円

「大田区観光情報センター」や「OTA ふれあいフェスタ」などでの展示・販売の他、民間企業と連携し催事・イベント等に出展、表彰製品・商品（事業者）の展示・販売機会を拡充し、「大田のお土産 100 選」を区内外に幅広くプロモーションします。



平成 28 年度「最優秀賞」
茶巾寿司と穴子の箱寿司の詰め合わせ
御鮓所 醍醐

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

繁盛店創出事業

予算額 1,422万9千円

副題：お店の集客力アップのための店舗診断及び助成金を交付します

ポイント

専門家による店舗診断・アドバイスと助成事業をセットにすることにより、個店の店舗改善を促進し、集客力のアップを図っていきます。また空き店舗活用等を含む新店舗改装や創業の場合も昨年度から対象としており、地域のニーズにかなった新しい店舗の出店も引き続き応援していきます。

事業概要

1 繁盛店創出モデル事業 1,338万6千円

商店を対象として、経営指導や店舗デザインに実績のある専門家が経営診断し、アドバイスをを行います。改善提案に基づいて店舗の改装等を行う際には、審査を経て経費の一部を助成します（助成率1/2 上限50万円）。

集客の高い魅力ある店舗を創出し、商店街や周辺の地域の活性化を図ります。

- (1) 専門家診断・アドバイス 40件
(平成28年度 38件)
- (2) 改善実施助成 28件
(平成28年度 22件)



2 商業版産業情報誌「あき now」の発行

84万3千円

商店等に協会事業を広く周知し、利用につなげるため、商業版産業情報誌「あき now」を年2回発行しています。

問合先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	柏原	電話 5744-1337
	担当者	門馬	電話 5744-1373

下町ボブスレー応援キャンペーン事業 新規 予算額 450 万円

副題：下町ボブスレーネットワークプロジェクトを応援し、大田区の産業を盛り上げます

ポイント

「下町ボブスレーネットワークプロジェクト」の取組は、その高い話題性により大田のものづくりの秀逸さを世界にPRしています。

「下町ボブスレー」がジャマイカ代表チームに採用され、平成30年2月の平昌2018冬季オリンピックへの出場を目指していることと並行して、応援キャンペーンを展開することで大田区の産業振興をさらに推進します。

事業概要

下町ボブスレー応援キャンペーン事業

450 万円

PR媒体を作成し各種イベントにおいて掲出を行うなど、区全体で下町ボブスレーネットワークプロジェクトの取組を後押しする機運を醸成するとともに、キャンペーンにあわせた区内の産業振興の取組を支援します。

また、同プロジェクトと大田区のものづくり産業の素晴らしさを紹介する冊子を作成し、平昌2018冬季オリンピックの会場等において広くPRするなどシティセールスを行い、区の産業界全体の活性化につなげます。



問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	宮本	電話 5744-1347 (工業振興担当)
	担当者	西川	電話 5744-1376

新空港線の整備主体の設立 新規 実計 予算額 1億8,000万円

副題：新空港線の早期整備に向けて前進させます

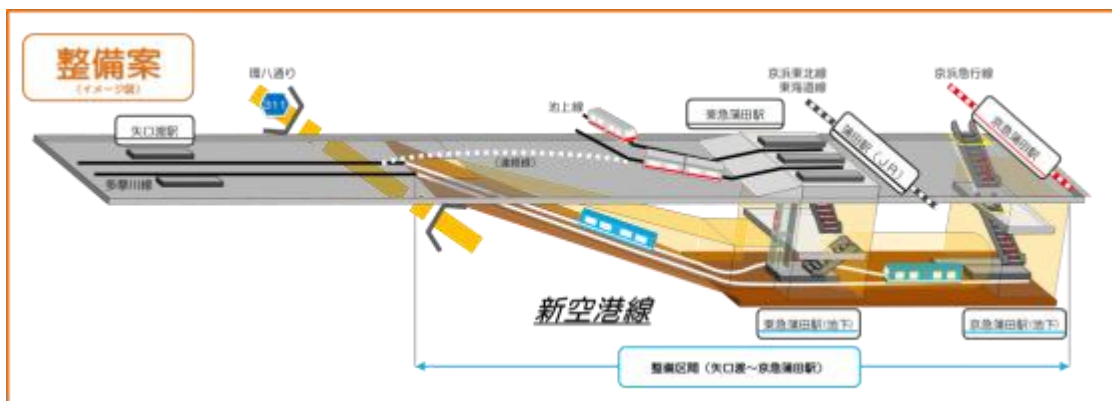
ポイント

新空港線事業は、鉄道施設を整備する「整備主体」と鉄道を運行する「営業主体」に分かれて実施する都市鉄道等利便増進法の活用を想定しています（上下分離方式）。そのため、区は、整備主体の設立に向けた取り組みを進めていきます。

事業概要

新空港線の整備主体設立のための出資金 1億8,000万円

新空港線事業は、平成28年4月の国土交通省の交通政策審議会答申第198号において、「矢口渡から京急蒲田までの事業計画の検討は進んでおり、事業化に向けて関係地方公共団体・鉄道事業者等において、費用負担のあり方等について合意形成を進めるべき」と高い評価を得ました。区は合意形成が図られた後、速やかに事業化を進めるため、平成29年度は整備主体設立に向け取り組んでいきます。



問合せ先	担当部課	まちづくり推進部 都市計画課
	副参事	遠藤 電話 5744-1736 (新空港線担当)
	担当者	大見・片平 電話 5744-1303

新空港線の整備促進事業

実計

予算額 10億495万6千円

副題：新空港線の整備に向けた取り組みを強化します

ポイント

蒲田駅と京急蒲田駅間の800mが繋がることによって、区内の東西交通の分断が解消され区民の移動利便性が向上します。また、羽田空港と渋谷・新宿・池袋などの副都心や和光・所沢・川越などの埼玉方面が繋がることによって、東京圏北西部の広域交通ネットワークが強化される事業です。

事業概要

新空港線の整備は、区内の東西移動の利便性の向上や沿線まちづくりを進めることで地域の活性化に寄与する事業です。また、空港アクセスの強化、東京圏北西部地域との鉄道ネットワークの強化、災害時や緊急時の迂回ルートの確立など、東京都全体にも大きな効果をもたらす事業です。

さらに、平成28年4月に国が示した答申第198号の中で『東京圏の都市鉄道が目指すべき姿』を実現する上で意義のあるプロジェクト」として24プロジェクトが示され、新空港線は「進めるべき」と位置付けられた6つのプロジェクトの1つに選ばれています。そのため、この間、区は答申に基づき関係者間の合意形成を図ってきました。平成29年度は、整備に向けた取り組みを更に強化します。

1 新空港線の整備促進事業 290万円

新空港線の事業を速やかに進めるためには、区民の皆様からの整備に向けた大きな後押しが必要です。そのために、より具体的な事業計画などを区民一人ひとりに理解いただけるよう、広報・啓発活動を一層強化していきます。



OTA ふれあいフェスタ (H28. 11)

2 新空港線整備資金積立基金 10億205万6千円

新空港線の工事準備資金として、平成29年度も引き続き10億円の積み立てを行います。

問合せ先	担当部課	まちづくり推進部	都市計画課
	副参事	遠藤	電話 5744-1736 (新空港線担当)
	担当者	大見・片平	電話 5744-1303

空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査 実計

予算額 1,676万7千円

副題：「働いてよし、訪れてよし」の空港臨海部まちづくりを目指します

ポイント

空港臨海部は、陸・海・空のネットワークの要であるとともに、日本の玄関口である羽田空港をはじめ、工場・物流施設等や魅力ある海上公園等の観光資源を多数有しています。

区は、平成22年3月に策定した「空港臨海部グランドビジョン2030」の実現に向けて、空港臨海部のさらなる発展を目指します。

事業概要

平成24年度から空港臨海部における課題整理、「重点地区」のプロジェクト実施に向けた詳細な調査・検討を行ってきました。

今後も引き続き島部の産業振興やにぎわい創出、円滑な交通ネットワーク等の実現を目指し、具体的な事業の実施に取り組みます。

※重点地区とは、羽田旭町周辺、流通センター駅周辺、大森ふるさとの浜辺公園周辺の3地区です。

1 空港臨海部まちづくりの調査検討

重点地区の民間開発や区事業の進捗にあわせて詳細検討・協議を継続し、着実に事業を推進します。また、島部のまちづくりビジョン策定を目指し、地元団体等と課題整理や施策方針等の検討を進めます。

2 空港臨海部交通ネットワークの調査検討

内陸部からのアクセス強化と周遊性の向上に重点をおきながら効果検証を進めます。とりわけ、鉄道駅を拠点とした島部における多様な移動手段の検討や、水辺空間の活性化に向けた舟運の社会実験に引き続き取り組みます。



島部のにぎわい創出（京浜島工場見学）



水辺空間の活性化

問合先	担当部課	まちづくり推進部	都市計画課
	課長	浦瀬	電話 5744-1671（空港臨海部調整担当）
	担当者	吉田	電話 5744-1332

京急関連駅周辺のまちづくり

実計

予算額 2,782 万円

副題：京急関連駅周辺の安全・安心なまちづくりに取り組みます

ポイント

京浜急行線連続立体交差事業を契機とした、京急蒲田西口駅前地区及び糀谷駅前地区の第一種市街地再開発事業が完成しました。引き続き、再開発地区に隣接した京急蒲田西口地区及び雑色駅周辺地区において、老朽建物を更新し安全・安心で魅力あるまちづくりに取り組みます。

事業概要

1 京急蒲田西口地区のまちづくり（地元活動支援等）

街並み誘導型地区計画を活用した共同建替え事業では、住環境・商業環境の整備を目指した各街区の地権者団体の活動を支援し、防災性の向上と魅力的なまちづくりを推進します。

2 雑色駅周辺地区のまちづくり事業への支援

地元地権者が組織するまちづくり研究会の活動を支援します。再開発事業の実現に向け、関係者との話し合いを進めます。

3 第一種市街地再開発事業の事後評価等

平成 27 年度に完成した京急蒲田西口駅前地区第一種市街地再開発事業について、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上など、今後のまちづくりに活かすための事後評価を行います。

平成 28 年度末に完成する糀谷駅前地区第一種市街地再開発事業に伴い新設された道路について、管理のための道路台帳を作成します。

問合先	担当部課	まちづくり推進部 都市開発課	
	課長	岡田	電話 5744-1351（連続立体事業再開発担当）
	担当者	前川	電話 5744-1356

「(仮称) おおた都市づくりビジョン」普及啓発

実計

予算額 103万9千円

副題：まちの将来像を広く区民に示します

ポイント

平成 28 年度に策定する「(仮称) おおた都市づくりビジョン」では、区内各エリア等の将来像をわかりやすく描きます。

この中で描いた区の将来像をシンポジウム、パネル展等を通じて区民に広く示すことで、まちの将来像を共有し、明確なビジョンを持って地域力を活かしたまちづくりに取り組みます。

事業概要

平成 23 年 3 月策定の「大田区都市計画マスタープラン」以降、羽田空港の再国際化の進展、東日本大震災の発災、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催決定など、区の内外を取り巻く情勢は大きく変化しています。変化を適切に捉え、区民とまちの将来像を共有し、明確なビジョンを持ってまちづくりを推進していくためには、都市の将来像をわかりやすく可視化することが重要です。そこで、平成 28 年度から都市計画マスタープランを具体化、展開した「(仮称) おおた都市づくりビジョン」の策定に取り組んでいます。平成 29 年度は、この「(仮称) おおた都市づくりビジョン」について、「区民と都市の将来像を共有」するため、区民との意見交換等を行います。

1 おおた都市づくりシンポジウム

「(仮称) おおた都市づくりビジョン」の策定に携わった学識経験者等を招き、区のまちづくりについて語るシンポジウムを開催することで、区民との意見交換を行います。



シンポジウムのイメージ

2 おおた都市づくりパネル展

各エリア等の将来像を描いたイメージパース等をパネルで紹介するパネル展を区内各所で展開し、周知を図ります。



パネル展のイメージ

問合せ先	担当部課	まちづくり推進部 都市計画課		
	課長	保下	電話	5744-1331
	担当者	中村	電話	5744-1333

「(仮称) 大田区の歴史散策ガイドブック」の作成 新規 実計

予算額 49万6千円

副題：区内の文化財・歴史めぐりに便利なガイドブックを刊行します

ポイント

大田区には、本門寺五重塔をはじめ指定・登録された176件の文化財や、六郷水門等の歴史資源があります。区内の文化財を中心に散策し、その魅力を感じ、理解を深めていただくために、地域ごとに分冊した散策コース付きの「(仮称) 大田区の歴史散策ガイドブック」を刊行します。

事業概要

「(仮称) 大田区の歴史散策ガイドブック」の作成

現在販売中の『大田の史跡めぐり』の内容を大幅に見直し、区内の文化財を主に、地域の歴史をたどるガイドブックを新たに作成します。

内容面では、情報量を増やしてわかりやすくするとともに、カラー刷りにより見やすく、文化財や歴史資源の持つ魅力を十分に感じ取っていただけるように充実します。

さらに、文化財・歴史めぐりに便利な散策コースを紹介します。

持ち運びやすいように地域毎に分冊し、平成29年度は「六郷・羽田」編と「蒲田・糞谷」編を作成します。今後、毎年発行し、4年で区内全地域を網羅します。

本ガイドブックは、区政情報コーナー等でも販売する予定です。



左：六郷神社 狛犬

貞享2年（1685）奉納で区内最古のもの。独特の造型や表情が特徴的。石工の名も刻まれている。

右：羽田神社 富士塚（通称「羽田富士」）

明治初めに築かれた人工の富士山。大田区内の富士山信仰の様相を示しており貴重。

※いずれも大田区指定文化財

問合せ先	担当部課	教育総務部	大田図書館	文化財担当
	館長	山中	電話	3758-3051
	担当者	岡本	電話	3777-1281

